

# 国立大学法人鹿屋体育大学学長選考に係る 学長候補者について

令和3年3月19日  
国立大学法人鹿屋体育大学  
学長選考会議公示第2号

国立大学法人鹿屋体育大学学長選考会議は、下記のとおり次期学長候補者を決定したので公示する。

## 記

### 1. 学長選考の結果

次期学長候補者

氏名：金久 博昭（カネヒサ ヒロアキ）

任期：令和4年4月1日から令和10年3月31日まで

### 2. 学長選考の選考理由

国立大学法人鹿屋体育大学学長選考会議は、国立大学法人法第12条第7号に規定する「人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力」を有し、かつ、学長選考会議が策定した「国立大学法人鹿屋体育大学長に求められる学長像（国立大学法人鹿屋体育大学学長選考基準）」の要件を満たしているかについて、第1次審査（書類審査）、第2次審査（面接審査）、第2次学長候補者による意見表明及び第2次学長候補者に対する学内意向聴取（投票）を実施し、慎重に審議を行い総合的に判断した結果、金久博昭氏を次期学長候補者として決定した。

金久博昭氏は、「国立大学法人鹿屋体育大学長に求められる学長像（国立大学法人鹿屋体育大学学長選考基準）」に掲げる次期学長に求められる6つの資質・能力を十分に備えるとともに、同氏が示す本学の強みを活かし、教育・研究活動のより一層の活性化をめざす取組は、第4期中期目標期間において本学をより善導していくために必要な施策であると判断し、本学の学長に最も適任であると認めた。

### 3. 学長選考の過程

令和2年

10月16日 第2回学長選考会議において、「国立大学法人鹿屋体育大学長に求められる学長像（国立大学法人鹿屋体育大学学長選考基準）」を策定した。

令和2年

10月21日 学長選考基準、選考日程及びその他必要な事項を記載した「国立大学法人  
～ 鹿屋体育大学について」を公示して学長候補者を公募し、2名の応募があ  
12月17日 った。

令和3年

1月19日 第3回学長選考会議において第1次審査（書類審査）を実施し、第1次学  
長候補者2名を選考した。

2月15日 第4回学長選考会議において第2次審査（面接審査）を実施し、第2次学  
長候補者2名を選考した。

3月1日 第2次学長候補者2名による意見表明を実施した。

3月18日 第2次学長候補者2名に対する学内意向聴取（投票）を実施した。

3月19日 第5回学長選考会議において、次期学長候補者を決定した。

(参考) 国立大学法人鹿屋体育大学学長選考会議委員

・経営協議会委員

泉 正文（公益財団法人日本スポーツ協会副会長兼専務理事）

岩切 剛志（鹿児島県副知事）

上治丈太郎（公益財団法人笹川スポーツ財団評議員）

小箆香椎子（日本女子大学名誉教授）

中西 茂（鹿屋市長）

宮嶋 泰子（一般社団法人カルティベータ代表理事、スポーツ文化ジャーナリスト）

・教育研究評議会評議員

萩田 太（鹿屋体育大学教授）

前田 明（鹿屋体育大学教授）

濱田 幸二（鹿屋体育大学教授）

金高 宏文（鹿屋体育大学教授）

前阪 茂樹（鹿屋体育大学教授）

高橋 仁大（鹿屋体育大学教授）

・理事

前谷 嘉一（鹿屋体育大学理事）

原田 耕藏（鹿屋体育大学理事）

## 国立大学法人鹿屋体育大学学長候補者に係る略歴等

フリガナ 氏 名	カネヒサ ヒロアキ 金久 博昭	
生年月日	1953年(昭和28年)8月27日	
所属先・職名	立命館大学スポーツ健康科学部・教授	
最終学歴	東京大学教育学部大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学	
学位	博士(教育学)	
専攻(専門分野)	体育学	
職歴	1983年10月 東京大学教養学部助手 1984年 4月 国際武道大学体育学部講師 1990年 4月 国際武道大学体育学部助教授 1993年 4月 富山大学教育学部助教授 1997年 4月 東京大学大学院総合文化研究科助教授 2006年11月 東京大学大学院総合文化研究科教授 2010年 4月 鹿屋体育大学体育学部教授 2014年 8月 鹿屋体育大学副学長(教育研究企画担当) 2016年 8月 鹿屋体育大学理事(教務・学生・研究・国際交流担当)・副学長 2018年 4月 鹿屋体育大学体育学部教授 2019年 4月 立命館大学スポーツ健康科学部教授	
受賞歴	特になし	